

寺報

No.649

令和3年9月

蓮華寺
發行

御聖訓

南無と申すはいかなる事ぞと申すに、南無と申すは天竺のことにて候。漢土・日本には帰命と申す。帰命と申すは我が命を仏に奉ると申す事なり。

『事理供養御書』



(解説)

我々が唱えます「南無妙法蓮華経」の「南無」とは、一体どういう意味なのでしょう。

『南無』の語源は、インド(天竺)のお言葉で「ナーモ」といい、それを漢字に音写し『南無』としたものであります。

中国(漢土)や日本では、これを【帰命】と訳してあります。

【帰命】とは、文字通り「我が命を仏に奉る」事、つまり、命懸けという事でありませう。

我々の持ちます最高の財産である命を仏様に捧げ、そのみ教えに反する事なく生きていく事をいうのです。

日蓮大聖人は「妙法蓮華経」とは単なるお経の名前ではなく、我々の命の元、つまり仏様の命そのものであると教えています。

ですから「南無妙法蓮華経」のお題目を唱える事は我々が我々の命、つまり仏様の命に対して、絶対の信を以て、命懸けで拝んでいる姿をいうのです。

『秋彼岸会』のお知らせ

九月二十三日(木) 中日

場所…小本堂

*法 要

午前八時より午前九時まで

*法 話

約十分間

| | | |
|----------------|----|----|
| お経・・・訓読法 | 法 | 話 |
| 二十三日 如来神力品第二十一 | 住職 | 上人 |

⑨『秋彼岸会』の法要は中日のみ一日ですが、ご先祖様と仏様のご供養は、残り六日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。

みんなでお参りしましょう

秋彼岸会法要次第

- 一、道場偈(僧侶が唱えます)
- 一、勧請(導師が唱えます)
- 一、開経偈(無上甚深)
- 一、お経(如来神力品第二十一・日本語読み)
- 一、運想(唱え奉る妙法は)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經)
- 一、宝塔偈(此経難持)
- 一、回向(導師が唱えます)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、お経(如来寿量品第十六・漢字読み)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經)
- 一、付回向(導師が唱えます)
- 一、四誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱

【法 話・・・約十分間】

⑨お経は如来神力品の訓読(日本語読み)と如来寿量品の真読(漢字読み)ですので、お経本をご用意下さい。

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、お預かりしていますお骨の前に一週間上がりませぬ。なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けしますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

みんなでお参りしましょう

新任のご挨拶

合掌。八月一日より蓮華寺に勤めさせて戴く事となりました『角田 堯悠(ギョウユウ)』と申します。※平成二年八月十六日青森市生れ【独身】※蓮華寺顧問「角田 堯専」徒弟【三男】※日蓮宗僧侶を目差し身延山大学に入学、卒業後総本山「久遠寺」に十年余り勤務。※今般、師僧の体調不良により青森に帰省。



蓮華寺に勤務してからあまり日数も経っておりませんので、今後色々な事を覚えながら頑張っていきたいと思っております。檀信徒の皆様どうぞよろしくお願い致します。

最上稲荷様

稲荷という言葉はイネナリ・イネニナルが転化したもので、元々は稲(米)の神で農業の神様です。その後商売繁盛・開運の神となりました。古来、キツネは稲荷様のお使いとしていたのですが、いつの間にか稲荷様のご神体がキツネであると、間違つて信じている方が多くいます。キツネはその神秘性から霊獣とみなされ、また春になると山から下りて、秋に去つて行くところから『田の神』の先触れとされ、農業の神の稲荷様とキツネがここで結びついたと考えられます。

このキツネの好物が油揚げで、その色もキツネの毛の色に似ているので、油揚げを使ったお寿司をイナリ寿司というようにもなりました。

日蓮宗でお祀りする稲荷様は、その位が一番高いという事で最上位に位置され、『最上稲荷』様と呼ばれますが、正式には『最上位経王大菩薩』といわれます。経王とはお経の中の王様、いわゆる法華経の事です。つまり、法華経で説かれた【御本仏】様のお姿をお借りして、我々を救済してくれる一番位の高い菩薩様という意味となります。

最上稲荷大祭

九月二十二日(水)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という名は元々稲の神であり、農業の神という意味です。それが転じて商売繁盛・開運の神様となりました。



- * 祈 願 . . . 八百円
- * 御法楽 . . . 八百円
- * 御神体御法楽 . 千円

◎ 「ご祈願・御法楽」をお申込みの方に『お札』^{ふだ}を差し上げます。
 ◎ 御神酒・お供物を受付けます。

檀信徒研修会のお知らせ

☆九月二十九日(水)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

* 『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時 間：午後七時より

場 所：小本堂(イス席です)

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

* 月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

* ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

◎ 今月は『秋彼岸会』の為に、土曜日には出来ませんので、ご了承下さい。

蓮華寺

九月の行事

- 一日(水) 『盛運祈願会』 午後一時より
- 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- 檀信徒の皆様は、必ずお守りを持ちましょう。



- 十三日(月) 『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より
 - 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
 - お経 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
 - 日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。
- 十三日(月) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中
- 二十二日(水) 『最上稲荷大祭』 午後一時より
- 二十三日(木) 『秋彼岸会』 午前八時より
- 二十九日(水) 檀信徒研修会『唱題行』 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

- 五日(日) 『日蓮大聖人御降誕八百年・東北教区記念法要』
- ◎お手伝いと後片付け (注)教宣部男女 午前八時半より

『秋彼岸会の追膳』

二十日(月)～二十六日(日) 迄一週間
 ◎『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時～七時半迄】夕【午後三時～五時迄】ですので、お手伝い出来ます方は時間迄にご集合下さい。お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお出で下さい。

二十二日(水) 『最上稲荷様大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より
 教宣部女性 昼 十二時より
 ＊テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(秋彼岸供養)は、九月二十三日(木)中日の午前十時半より、まず大本堂にて読み上げとご供養をし、その後境内にて再度ご供養致しますので、一緒に参拝出来る方は時間までお越し下さい。時間は三十分程です。

- ◎各部員はご奉仕の他に、『秋彼岸会』の午前八時から、『最上稲荷様大祭』の午後一時からの法要に積極的にご参拝して下さい。
- ◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。なお宗旨・宗派は問いません。 ☎776-5840

『位牌壇』の募集!

- ◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。
- ◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』に追膳、またお経も唱えさせて戴きます。
- ◎青森では冬期間お墓参りが出来ませんが、『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。
- ◎最近の仕事の関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方も増えています。
- ◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、三年以上使用の方に上位で空いています『位牌壇』を無料でお譲りしています。ですから三席から特席にも上がれます。

提灯の募集

「御会式・お正月・鬼子母神大祭」に下げます『提灯』(トロー)を限定で募集します。作成価格は八千円、年間管理費が二千円なので初年度のみ一万円となります。

秋 彼岸 会

九月二十三日(木)中日

於：小本堂

法 要・・・午前八時～九時まで

* 『法要』は彼岸の中日のみですので、檀信徒の皆様も
ご注意の上、ご参拝下さい。

残りのご供養は「朝のお勤め」で読み上げします。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各霊位・・・・・・800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・永代供養堂・・・・3,500円

*法要に参拝し、お経・お題目を唱えましょう！